

お知らせ

記者発表資料 配布日時	平成29年11月22日 14:00
----------------	----------------------

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ



平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)を認定！
～中国地方では唯一、「舞ロードIC千代田」を認定しました～

国土交通省では、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”の取組を昨年度から実施しているところです。

今年度は、“地域交通拠点”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、全国で7箇所のモデル「道の駅」が認定されました。

このうち、中国地方でも1箇所認定されましたので、以下のとおりお知らせします。

■認定結果：<国土交通大臣認定>（中国地方）

○平成29年度 地域交通拠点部門 モデル「道の駅」 認定数 1 駅

・舞^{まい}ロード I C^{いんたーちよだ}千代田（広島県北^{きたひろしまちょう}広島町）

※ 認定対象の詳細は別添資料のとおりです。

○ 認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

○ その他、詳細は「道の駅案内」サイトをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表)：(平日・昼間)

道路部 交通対策課長 後^ご藤^{とう}英^{ひで}夫^お (内線4511)

【担当】道路部 交通対策課長補佐 山^{やま}口^{ぐち}克^{かつ}己^み (内線4512)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 坂^{さか}屋^や政^{まさ}之^{ゆき} (内線2117)

企画部 環境調整官 足^あ立^{だち}司^{つかさ} (内線3114)

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成29年度は、テーマ（部門）として“地域交通拠点”を設定



平成29年度 モデル「道の駅」（地域交通拠点部門）

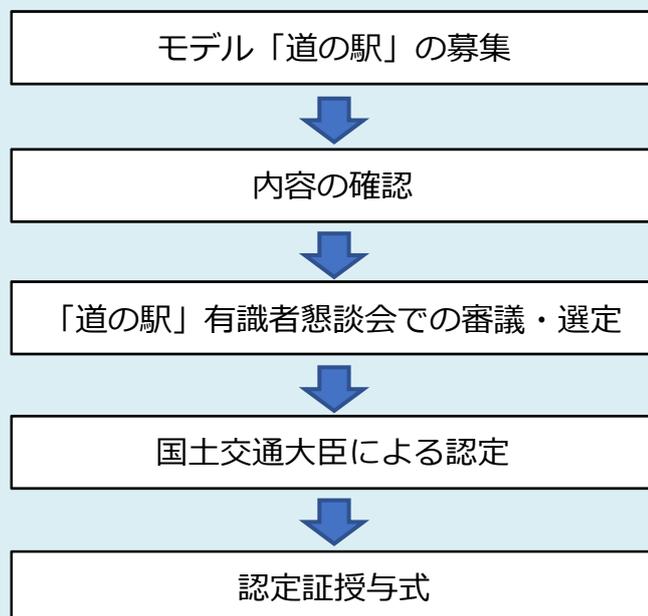
国土交通大臣認定

中山間地域及びその周辺地域において、「道の駅」が公共交通モード間の接続拠点となっており、接続機能向上の取組により、現時点で地域住民の生活の足の確保に資する成果をあげているもの

(対象イメージ)



(認定の流れ)

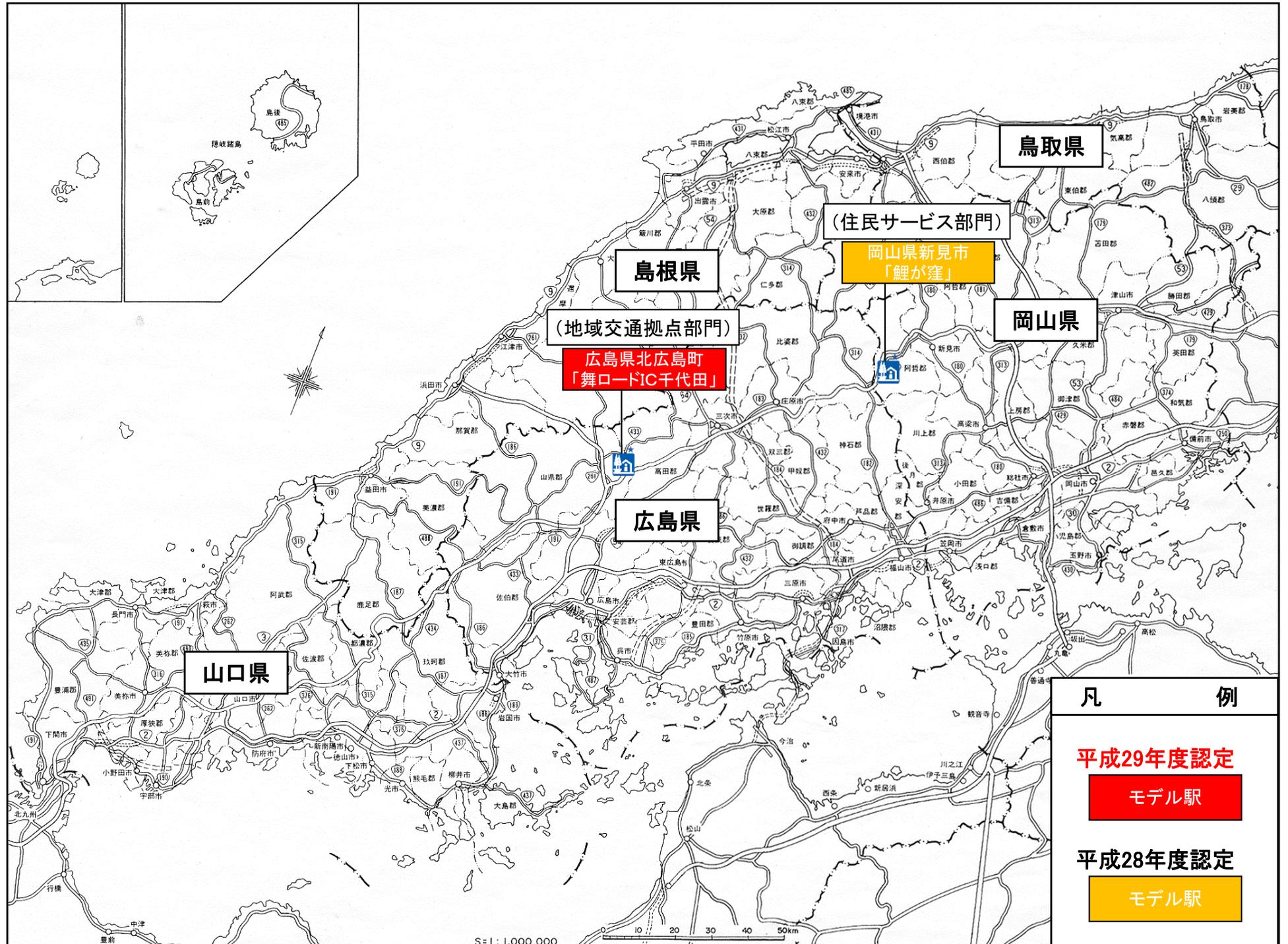


「道の駅」有識者懇談会

- 委員長：石田 東生 [筑波大学大学院 特命教授]
- 楓 千里 [(株)JTBパブリッシング 取締役 法人情報事業部長]
- 篠原 靖 [跡見学園女子大学 マネジメント学部准教授]
- 根岸 裕孝 [宮崎大学 地域資源創成学部准教授]
- 山田 知子 [比治山大学 現代文化学部教授]

(敬称略・五十音順)

中国地方整備局管内のモデル「道の駅」認定箇所 (特定テーマ型モデル「道の駅」)

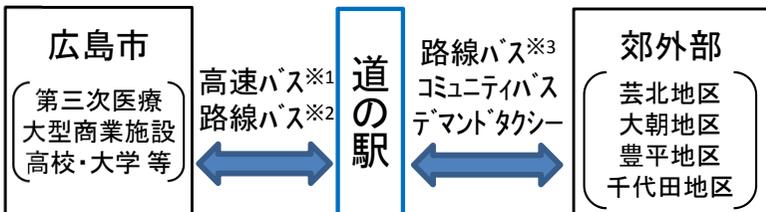


- バスと一般車両の空間分離や高速バスとの連絡通路のバリアフリー化等、公共交通利用に配慮した施設設計。
- 民間バス事業者との連携により、高速バスチケットの販売やICチャージ機の設置を行い、乗継利便性を向上。



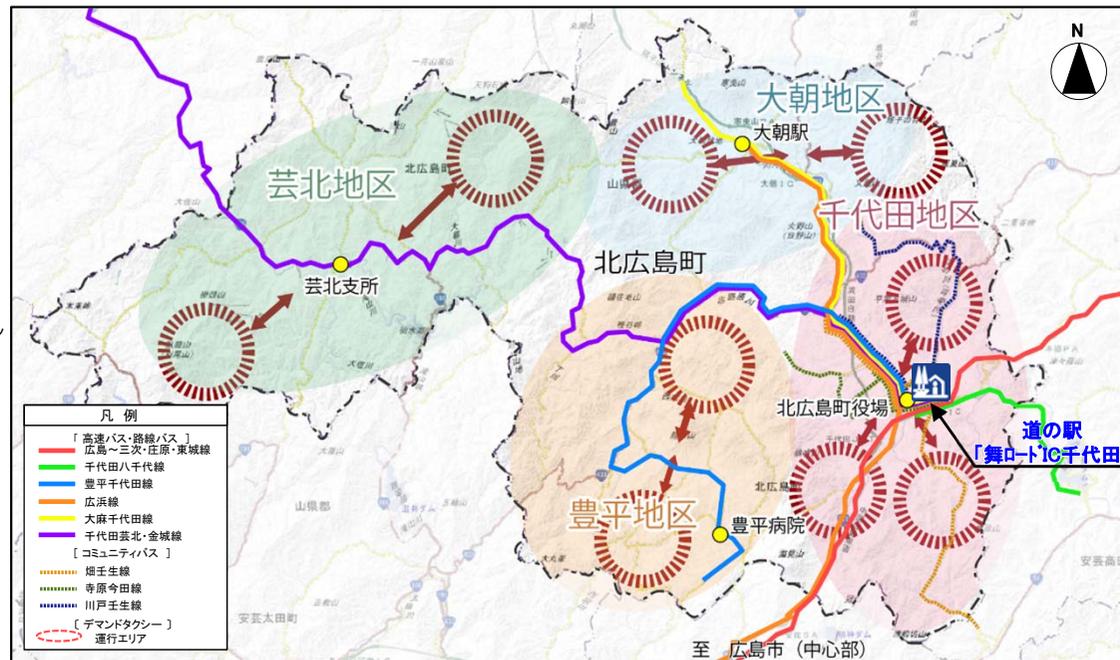
人口 約19千人
 面積 約646km²

地域住民の足の確保



※1:広島電鉄(株)、備北交通(株) ※2:中国JRバス(株) ※3:(有)豊平交通、(有)大朝交通、(有)総合企画コーポレーション

- ・ 路線バス利用者の約2割が道の駅で乗降
- ・ 高速バスを利用して通学する高校生、大学生が110名



乗継利便性向上の取組

◇ 高速バスとの乗継が雨に濡れない、バリアフリー



◇ バス利用・待合サービスの充実



総合案内所
 高速バスのチケットも販売

待合所

交通系ICカードのチャージ機も設置

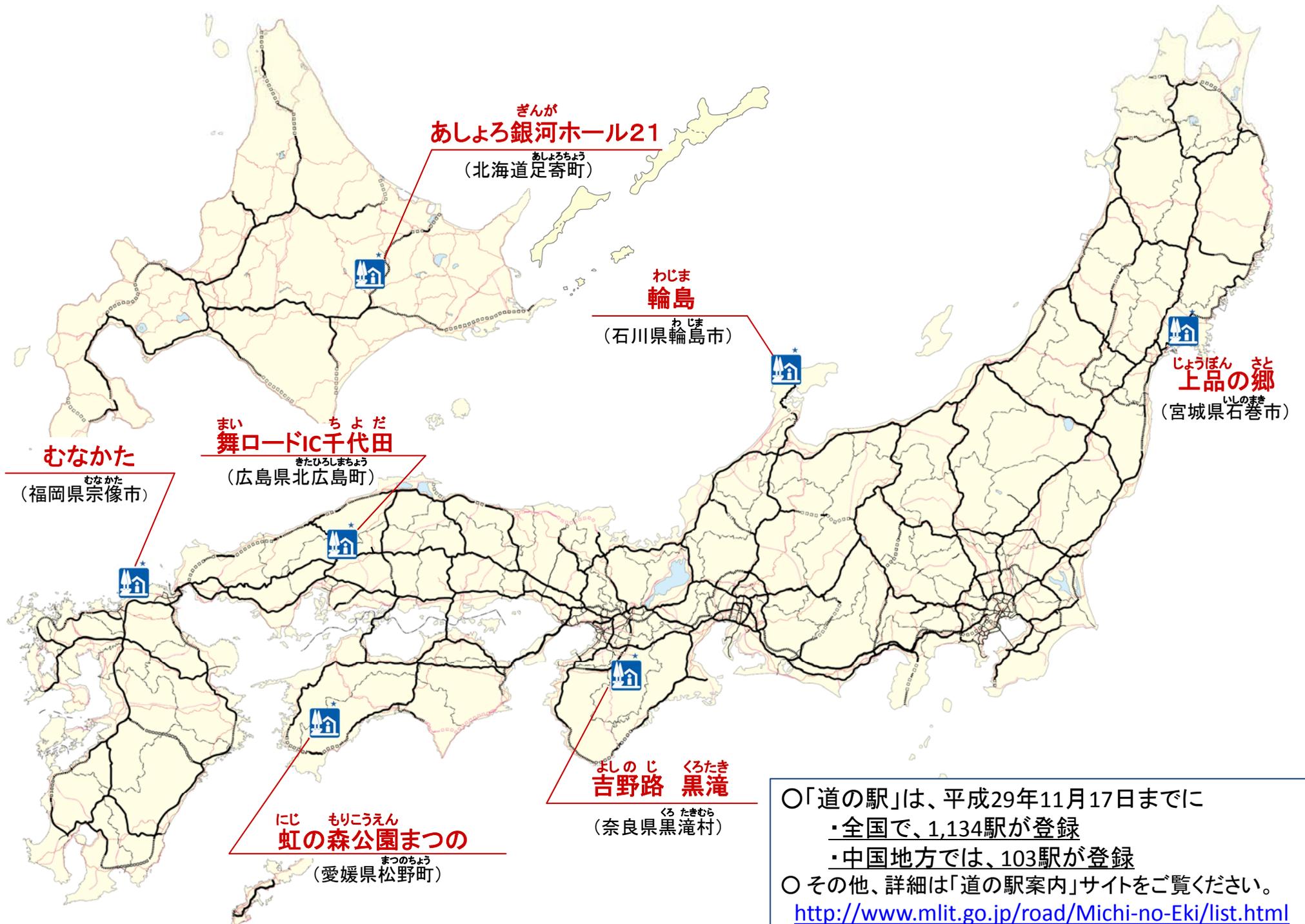


◇ バスロータリーと一般車両の駐車場を分離



- ▲ 連絡通路に屋根を設置
- ◀ 連絡通路にエレベーターを設置

平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)



平成 29 年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
北海道	あしよろちよう 足寄町	H16	あしよろ ^{ぎんが} 銀河ホール 21	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両と一般車両の駐車スペースを分離した空間設計 ・路線バスの運行時間に合わせて、待合所の営業時間を延長
宮城県	いしのまき 石巻市	H16	じょうぼん ^{さと} 上品の郷	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者との連携により、バス停を「道の駅」の待合スペース前に移設 ・「道の駅」を市の総合交通戦略に位置づけ ・東日本大震災後に、仮設住宅路線を新設
石川県	わじま 輪島市	H15	わじま 輪島	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の無人自動走行も見据えた電動カートの試験走行など先進的な取組を実施 ・隣接する文化会館との渡り廊下を整備し、利用者の利便性を向上
奈良県	くろたきむら 黒滝村	H5	よしのじ ^{くろたき} 吉野路 黒滝	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスと路線バスの乗継利用者に、路線バスの乗車券を無料配布 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
広島県	きたひろしまちよう 北広島町	H16	まい ^{ちよだ} 舞ロード IC千代田	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス停への乗継経路上にエレベーターや屋根を設置し、乗継利便性を向上 ・民間バス事業者との連携により、高速バスのチケット販売やICカードチャージ機の設置を実施
愛媛県	まつのちよう 松野町	H10	にじ ^{もりこうえん} 虹の森公園まつの	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者との連携により、路線バスの終点を「道の駅」まで延伸 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
福岡県	むなかた 宗像市	H20	むなかた	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者との連携により、路線バスのルートを「道の駅」経由に変更 ・「道の駅」から天神行き特急バスを新設